

Thomas Kreuzberger トーマス・クロイツベルガー(Pf.)

ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学ハンス・ペーターマンドル、フリーダ・ヴァレンツィ、アレクサンダー・イェンナーの各氏に師事。また、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリのマスタークラスを受講した。

これまでヨーロッパ、アメリカ、中国、韓国、日本で幅広く演奏活動を展開し、特に現代作品、超絶技巧作品、およびピアノ連弾作品を主要なレパートリーとしている。

これまでに、フランツ・リスト、ロベルト・シューマン、イヴァン・エロードの作品を収録した CD を発表。また、エリザベート・エシュヴェ、クラシミラ・ヨルダン、および元教子で現在はウィーン国立音楽大学伴奏講師を務めるワン・シー（王希）とのピアノ連弾作品も録音している。近年は、クラシミラ・ヨルダン門下のウェイ・シエとともに、オーストリアおよび中国で数多くの連弾コンサートを開催している。

1984 年よりウィーン国立音楽大学で教鞭を執り、2004 年には同大学教授に就任するとともに、音楽指揮学科第 II 研究所所長および学部長に任命され、2021 年までその職を務めた。

また、1981 年よりピアノ演奏専攻クラスを担当し、当初はウィーン市立音楽院、その後はウィーン市立音楽芸術大学（MUK）の教授として後進の指導にあたっている。

門下生は、パリ、ブダペスト、大阪、ドイツ（ミュンヘン）、ポルトガル、イタリア、オーストリアなどで開催された数多くの国内外の国際コンクールにおいて優秀な成績を収めている。

2018 年からはウィーン国立音楽大学においてピアノ演奏専攻予備課程の指導も担当している。2022 年には、同大学への長年にわたる多大な貢献が認められ、ウィーン国立音楽大学金賞名誉メダルを授与された。

2012 年から 2019 年まで、オーストリア全国青少年音楽コンクール「Prima la Musica」において、ウィーン国立音楽大学を代表する連邦専門委員を務めた。現在もチロル州およびフォアアールベルク州において審査員を務めている。

さらに、ウィーン音楽セミナーの講師および理事としても活動し、日本、中国、韓国、ポルトガル、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカなど世界各国でマスタークラスを開催している。また、インスブルックのモーツアルテウム国際ピアノ・アカデミーでも講師を務めるほか、パリ、ブダペスト、ポルトガル、中国、日本などで開催される数多くの国際ピアノコンクールの審査員としても活躍している。